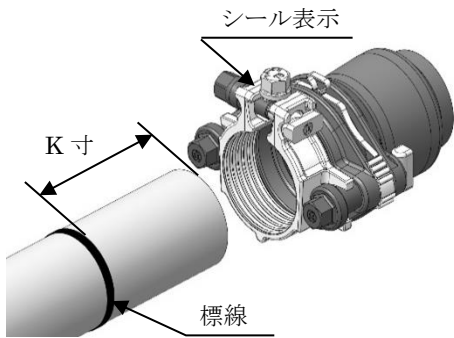


①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K寸)を測り、**標線**を記入して下さい。

- ・パイプ切断のカエリは取り除いてください。
 - ・滑剤の塗布は不要です。
- ※「異形管 K 寸表」参照



□異形管 K 寸表

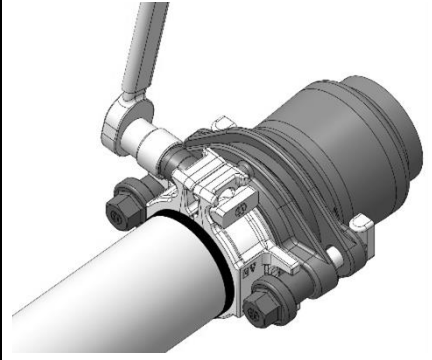
| 呼び径 | パイプ挿入量 K(mm) +10/-0 |
|-----|------------------------|
| 40 | 105 |
| 50 | 135 |
| 65 | |
| 75 | 145 |
| 100 | 165 |
| 125 | 170 |
| 150 | 185 |
| 200 | 205 |

異形管：MVK、MVF、MVB、MVTなど

⑤ストップリング本締め

ストップリング締付ナットを**本締め**して下さい。

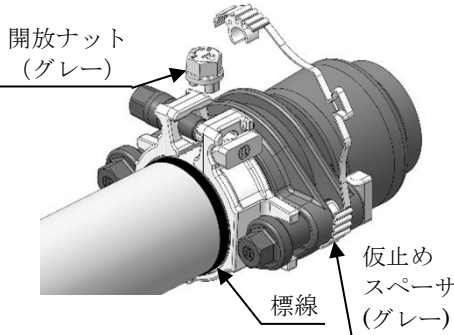
※JISポリ管以外は締付トルク管理です。「標準締付トルク表」参照



②パイプ挿入

分解せずに継手を**標線**まで入れ、**仮止めスペーサ(グレー)**と**開放ナット(グレー)**を取り外します。

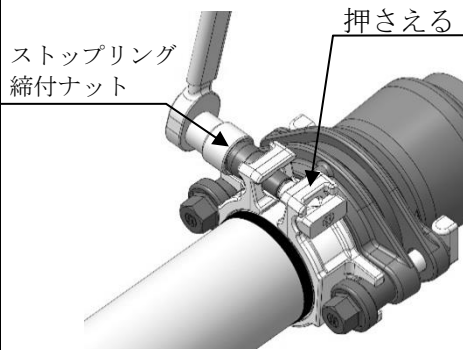
- ・仮止めスペーサが外れにくい場合は押輪締付ナットを少し緩めて下さい。
- ・仮止めスペーサを先に外しても施工は可能です。



④ストップリング仮締め

押輪と接した状態で、パイプとのガタツキが無くなるまで**ストップリング上部**を押さえながら、ストップリング締付ナットを**締め付けて**下さい。

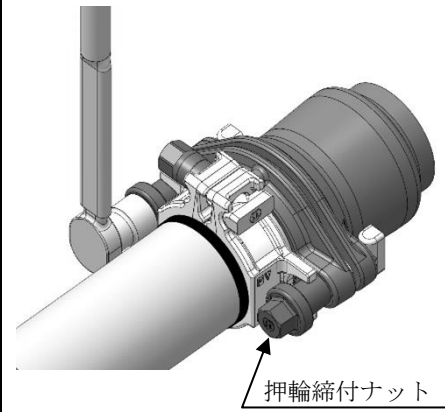
(標線と重なる程度が良い。)



⑥押輪本締め

押輪締付ナットを、**数回にわたり均等に本締め**して下さい。

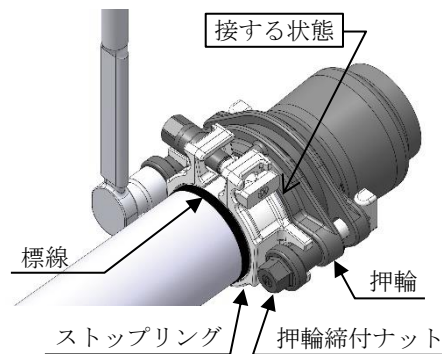
※「標準締付トルク表」参照



③パイプ仮固定

ストップリングは**押輪と接した状態**で**標線**に合えます。

パイプが仮固定するまで、**押輪締付ナット**を軽く締めて下さい。



□標準締付トルク表 (N・m)

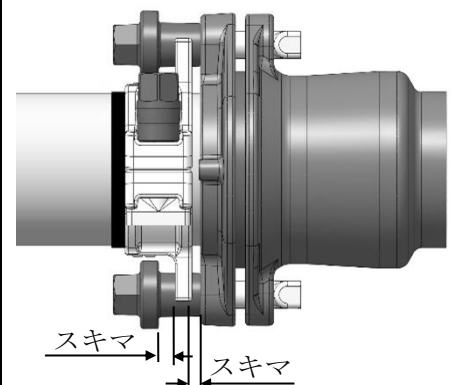
| 呼び径 | 押輪 | | ストップリング | |
|-----|-----------|--------------------|----------------------------|-------------|
| | ポリ管 | SUS | ポリ管 | SUS |
| 40 | 25 ~30 | 20~25 ~30 | 当てるまで締めて下さい。 ストップリング先端が | 25~30 |
| 50 | 50 ~60 | 35~40 ~60 | | 75~90 |
| 65 | | 40~50 ~60 | | 85 ~100 |
| 75 | | 50~70 ~80 | | 110 ~130 |
| 100 | 60 ~70 | 85~ 100~ 120 | | 200 ~220 |

※太字: 基準値

⑦施工完了

両端の**スキマ**を確認して下さい。

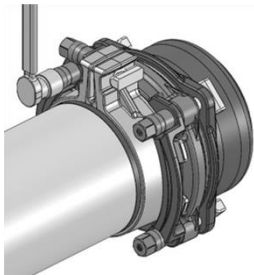
(自動的に伸縮可とう量が確保されています。)



開放ナット使用手順

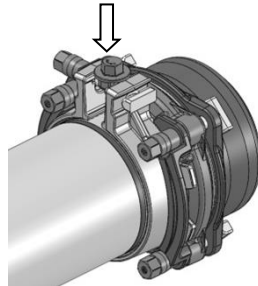
① 押輪締付ナットを緩める

押輪を緩めて下さい。



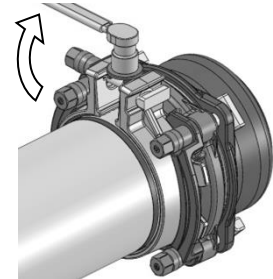
③ 開放ナットのセット

ストップリング先端のスキマに開放ナットを挿入して下さい。



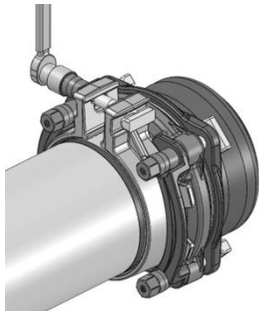
④ 開放ナットの取り付け

開放ナットを「O」の方向（右回り）に90°回す。



② ストップリングを緩める

ストップリングを分解しない程度まで緩めて下さい。



開放ナットサイズ

| 呼び径 | ナットサイズ | 対辺 |
|-------|--------|----|
| 40 | M10 | 17 |
| 50・65 | M16 | 24 |
| 75 | M16 | 24 |
| 100 | M16 | 24 |
| 125 | M16 | 24 |
| 150 | M16 | 24 |
| 200 | M20 | 30 |

⑤ パイプの開放

ストップリングが開放されますのでパイプを外して下さい。
(開放ナットが外れることがあるので注意して下さい。)

